

要 望 書

令和4年11月

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

要 望 書

山陰近畿自動車道は、日本海沿岸国土軸を形成する重要な道路でありながら、日本海側唯一の高速道路のミッシングリンクになっており、全線事業化の目途さえ立っていない状況です。

特に道路ネットワークの構築は、あらゆる産業の振興や救急医療など市民生活に直結し、本市が将来にわたって発展していくうえで最も重要な課題であります。

このような中、令和4年10月16日に丹後・地域高規格道路推進協議会の主催で開催された山陰近畿自動車道早期実現促進大会では、早期全線整備の時期的目途を明らかにし、同整備のできる限りの加速化を実現するため、利用者負担を排除せず、安定的な財源確保により令和10年代の全線整備と令和5年度には網野ICまでの事業化等を関係機関に強く求めたところです。

また、近年は、記録的な豪雨や大型台風などによる自然災害が頻発化・激甚化しており、このような自然災害への事前の備えは、喫緊の課題となっています。

国においては、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を策定し、地方においても国土強靱化対策に積極的に取り組み、成果をあげているところです。

つきましては、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の目標を確実に達成するための必要な予算を確保いただくとともに、新型コロナ終息後の官民を挙げた経済活動のV字回復と物流・観光等の経済活動復興のための道路整備として、山陰近畿自動車道の全線早期完成に向け、次のことを要望します。

- 1 大宮峰山インターチェンジから府県境までの全線を令和10年代に完成するよう具体的な整備の年次計画を立てて全線整備の具体的な目途を明らかにするとともに、その早期全線整備を図られたい。
- 2 大宮峰山インターチェンジから網野インターチェンジまでを令和5年度までに事業化されたい。
- 3 大宮峰山道路の早期完成に向け、事業の推進を図られたい。
- 4 府県境までの区間について、地元希望ルート帯に配慮し、早期にルートを決定されたい。

令和4年11月24日

近畿地方整備局
局長 渡辺 学 様

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟
会 長 池 田 恵 一

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

会 長 池 田 恵 一

副会長 櫻 井 祐 策

幹 事 金 田 琮 仁

幹 事 中 野 勝 友

幹 事 松 本 聖 司

幹 事 水 野 孝 典

川 戸 一 生

多賀野 一 彦

谷 津 伸 幸

富 田 恵 輔

鳴 海 公 軌

浜 岡 大二郎

東 田 真 希

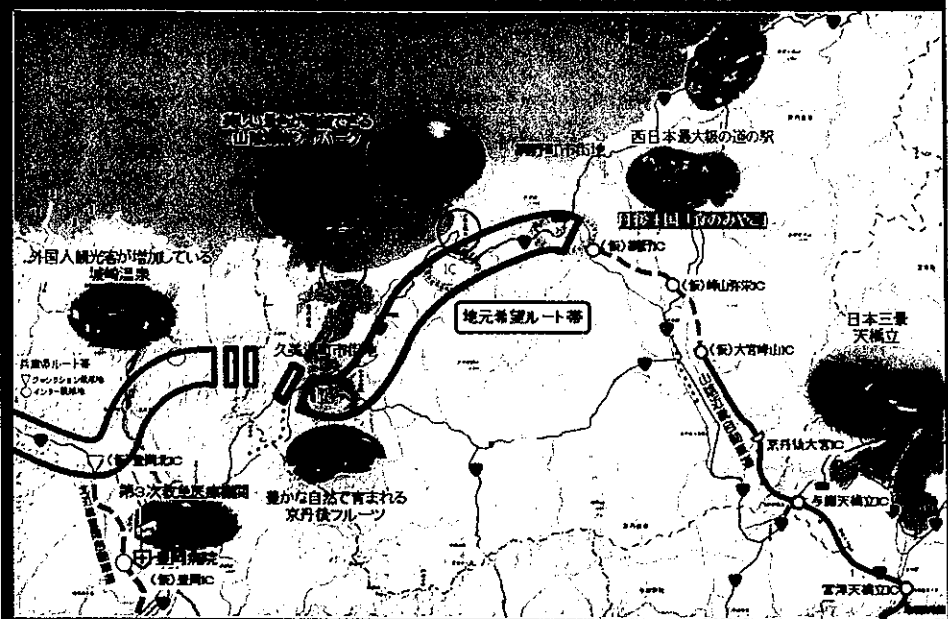
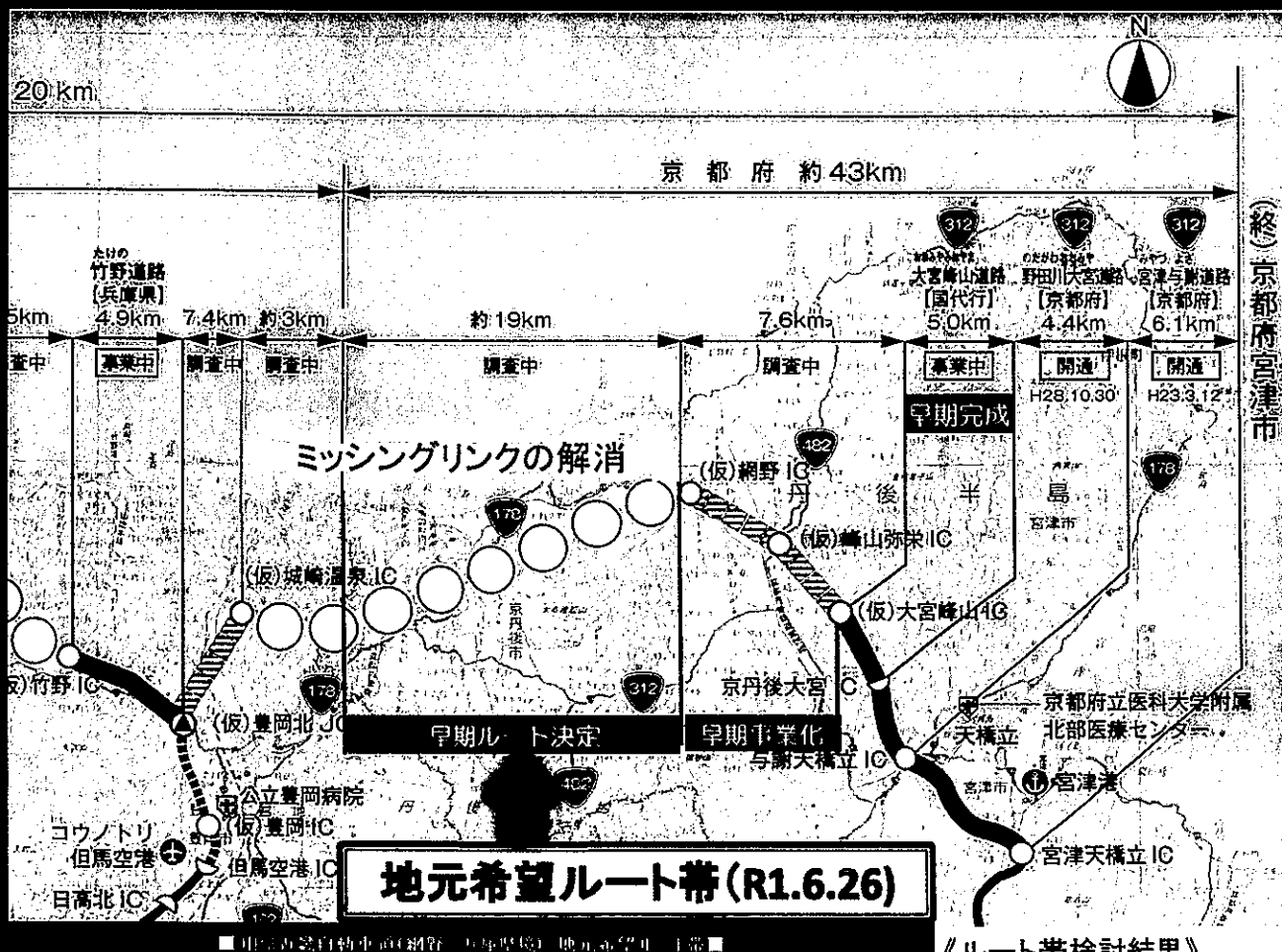
平 井 邦 生

和 田 晋

和 田 正 幸

山陰近畿自動車道の早期全線完成

- 令和10年代の全線完成
- 大宮峰山IC～網野ICまでを令和5年度には事業化
- 大峰峰山道路の早期完成
- 網野IC～府県境の早期ルート決定



《ルート帯検討結果》

- 観光資源、宿泊施設の集積している海側を通るルートを地元希望ルート帯とする。
- 防災・医療や産業振興・広域観光に資する利便性のよい2箇所インターチェンジを希望する。
- 網野市街地からの利便性の向上を図るため、(仮)網野IC位置の計画変更も検討する。